

都市再生整備計画 事後評価シート
岩田駅周辺地区

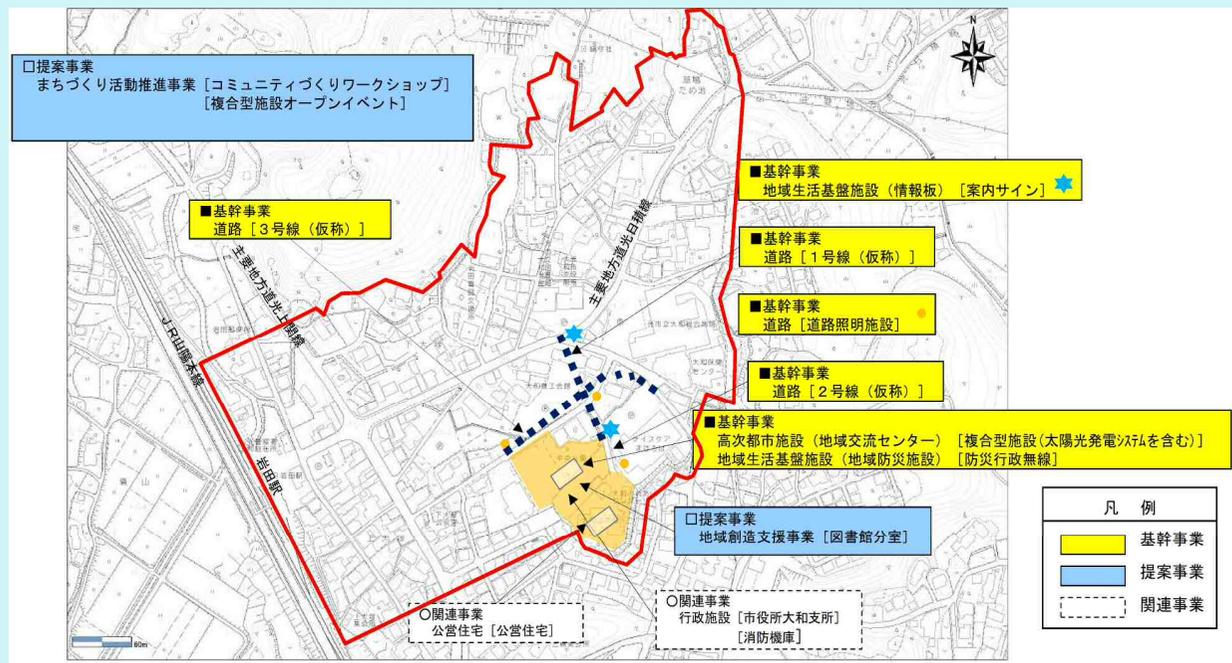
令和2年3月

山口県光市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県	市町村名	光市		地区名	岩田駅周辺地区			面積	17.5ha			
交付期間	平成26年度～30年度	事後評価実施時期	令和1年度		交付対象事業費	981百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	高次都市施設(複合型施設)、地域生活基盤施設(案内サイン、防災行政無線)、道路(1号線、2号線、3号線、道路照明施設)										
		提案事業	地域創造支援事業(図書館分室)、まちづくり活動推進事業(複合型施設オープンイベント、コミュニティづくりワークショップ)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-	-		-		-		-			
		提案事業	-	-		-		-		-			
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-		-		-		-			
		提案事業	-	-		-		-		-			
交付期間の変更	当初	平成26年度～30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		-		-				
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	複合型施設の利用者数	人/年	3.0万人	H24 3.3万人	H30	-	3.0万人	△	あり なし	● -	施設の利用開始前後に、一時的に使用を控える動きがあったため、目標値には達していないが、利便性やアクセス性利用環境の向上により、コミュニティ活動が促進され、利用者は増加傾向が見られる。	令和2年4月頃
	指標2	歩道の幅・段差の解消に関する満足割合	%	18.9%	H24 30.0%	H30	-	26.9%	△	あり なし	- -	地区内の一部道路整備が進捗していないため、目標値には達しなかったが、市道の新設・改良等により、満足割合が上昇していると考えられる。	-
	指標3	自治会や公民館活動に参加している人の割合	%	62.4%	H24 80.0%	H30	-	-	-	あり なし	- -	公民館を廃止したため、コミュニティ活動の活性化についてはその他の指標2により評価することとした。	-
	指標4	-	-	-	-	-	-	-	-	あり なし	- -	-	-
	指標5	-	-	-	-	-	-	-	-	あり なし	- -	-	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	交通安全対策の充実に関する満足割合	%	27.7%	H24		-	33.5%			歩道を含む道路の新設・改良に加え、道路照明施設の設置など地区の総合的な交通環境の改善により、満足度の向上が見られた。	-	
	その他の数値指標2	コミュニティセンター利用団体数	団体	53団体	H24		-	61団体			施設の利用環境の向上に加え、活用ワークショップの開催などにより、利用団体数の増加が見られた。	-	
その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-		
4)定性的な効果発現状況	中学生や高校生などの学生をはじめ、お年寄りや主婦など、年代や性別を問わず、誰もが集まれる場所となり、多世代交流の創出や地域への愛着の醸成にもつながっている。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	市民アンケート調査によるモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	モニタリング同様に今後も動向を把握する。			
	住民参加プロセス	・コミュニティづくりワークショップ ・複合型施設オープンイベント			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	地域のニーズを把握し、地域住民主体のイベント等を促進させ支援するとともに、施設の利便性を向上させ、さらなる利用促進及び地域コミュニティの活性化を図る。			
持続的なまちづくり体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				- - -	-				

様式2-2 地区の概要

岩田駅周辺地区(山口県光市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
目標 大目標 誰もが安心して住み続けられる、快適で便利なまちづくり 目標① 公共施設の再編・再配置により、市民の生活利便性の向上を図る。 目標② 主要な都市基盤である道路等の整備により、安全で安心な通行環境を整える。 目標③ 地域コミュニティの拠点機能を充実し、市民の地域コミュニティ活動への参加を促進する。		複合型施設の利用者数	単位:人/年	3.0万人 H24	3.3万人 H30	3.0万人 R1
		歩道の拡幅・段差の解消に関する満足割合	単位:%	18.9% H24	30.0% H30	26.9% R1
		自治会や公民館活動に参加している人の割合	単位:%	62.4% H24	80.0% H30	- -
		交通安全対策の充実に関する満足割合	単位:%	27.7% H24	- -	33.5% R1
		コミュニティセンター利用団体数	単位:団体	53団体 H24	- -	61団体 R1
		大和コミュニティセンター(西面)  大和コミュニティセンター(南面)  大和コミュニティセンター内(サロン) 				
コミュニティセンターオープンイベント  コミュニティづくりワークショップ(活用宣言)  道路(1, 2, 3号線)交差点 						
まちの課題の変化	・公共施設の再編・再配置により一体的で利便性の高い公共サービスの提供が可能となった。今後は引き続き、地域活力や地域コミュニティの維持を図っていくことが求められる。					
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・複合型施設やその周辺の道路等の整備が完了した。引き続き、安全で安心な通行環境の確保に向けて、地区内の幹線道路の整備が進められている。また、快適で便利なまちづくりに向けて、地区内に一定の居住を集約するために、公営住宅等の整備を進めていく。 ・地域活力や地域コミュニティの維持への対応として、高齢者や若者が気軽に安心して参加できる仕組みづくり等、コミュニティ活動への側面等の支援を検討していく必要がある。					